

4 歳児

6 月の月案

ねらい	期	<ul style="list-style-type: none"> ● 戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう ● いろいろな遊びに興味をもって取り組もうとする ● 身近な自然にふれて、見たり遊んだりすることを楽しむ ● 梅雨や夏の過ごし方を知り季節感のある遊びを十分に楽しむ 	行事	開園記念日 土曜参観 身体測定 避難訓練 (地震) 英語で遊ぶ	衣替え じゃがいもほり 保育参観 誕生会 水遊び	食育	虫歯予防 育てた野菜を食べる
	月	<ul style="list-style-type: none"> ● 戸外で思い切り体を動かして遊ぶ楽しさを味わう ● いろいろなものや場、遊びに興味をもち、自分からかかわって遊ぶことを楽しむ ● 友達に関心をもってかかわり、一緒に遊ぶ楽しさを感じる ● 梅雨や夏の過ごし方を知り、この時季ならではの遊びを楽しむ 	歌・手遊び等	<ul style="list-style-type: none"> ・ はをみがきましょう ・ かたつむり ・ とけいのうた ・ たなばたさま ・ ディズニー体操 	安全健康教育 教材 絵本・紙芝居等	雨の日の安全な過ごし方 梅雨時の衛生週間 ・ マーブリング液、画用紙 ・ 七夕飾り (折り紙、はさみ、のり) ・ 小麦粉粘土 (小麦粉、粘土板) 「天の川にかかる橋」 「せっけんさんありがとう」	

ねらい	予想される幼児の姿	教師の援助と環境の構成
-----	-----------	-------------

健康	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体を動かして遊ぶ心地よさを知る。 ○ 雨の日の安全な過ごし方や遊び方を知る。 ○ 水遊びやプール遊びの時の着替え、歯みがきなど、健康な生活の仕方を知り、自分で行おうとする。 ○ 砂・泥・水・絵の具・小麦粘土などの感触や開放感を楽しみながら、自分なりに繰り返して遊ぶ。 ○ 友達と同じ場で過ごしながら、友達の動きや言葉に関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所持品の始末や着替え、片づけなど、自分で行おうとする。 ・ 自分の好きな遊具や場、遊びにかかわり繰り返し楽しむ。 ・ 体を動かして遊ぶ。(巧技台、マット、L字トンネル等) ・ 季節の遊びをする。(水、シャボン玉等) ・ 同じ場所や遊びの中にいる友達とかかわる。(砂場、水遊び、触れ合い遊び、手遊び等) ・ 友達と同じものを持ったり、身につけたりして遊ぶ。 ・ 親子で体操をしたり、走ったりする。 ・ 野菜の生長を見たり、世話をしたりする。(ミニトマト、枝豆、オクラ) ・ じゃがいもほり、さつまいもの苗植えをする。 ・ おたまじゃくしやザリガニ、メダカ、だんごむしを見たり、触れたりする ・ したいことやしてほしいことを言葉で相手に伝えようとする。 ・ 動物や好きなものになって遊ぶ。 ・ いろいろな空き箱や端紙を使って遊ぶ。 ・ はさみやのりの使い方を知る。 ・ 七夕の製作をする。 ・ クラス皆で体操やリズム遊びをする。(どうぶつ体操、ディズニー体操) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自分のことを自分で行おうとする姿を認め、個々に応じて手伝ったり励ましたりしながらかかわり、自分でできた喜びに共感し、身につくようにする。 ☆ 季節の遊びでは解放感を味わえるよう、スペースを十分に確保し全身を使って遊んだり気持ちを発散したりできるようにする。 ☆ 水遊びでは、水に対する一人一人の経験の差を把握し、徐々に水に慣れていけるように遊びを進めていく。また、石拾いを行い危険のないよう園庭を整備しておく。 ☆ プール遊びの手順や約束、手洗い・うがい・歯みがき・水分補給の大切さなどについて考える機会をつくり、絵本や紙芝居、絵カードなどを通して具体的に知らせていく。 ☆ 片づけしやすい環境を工夫し、教師がモデルとなりながら一緒に片づけ、きれいになる心地よさを感じられるようにする。 ☆ ごっこ遊びなどでは教師自身も仲間の一員となり、それぞれの思いや楽しさを言葉にして周りに伝え、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるよう言葉をかけていく。 ☆ 幼児が摘んできた草花などを、空き容器などに挿しておいたり、小さな生き物なども飼育ケースに入れて観察できるようにする。 ☆ 動植物の絵本などを用意しておき、教師と一緒に見たり周囲の幼児にも伝えたりしながら興味が広がるようにする。 ☆ 自分なりに思いを表している姿を認め、必要に応じて、具体的な言葉や伝え方を知らせていくようにする。 ☆ 自分の思いをうまく伝えられず友達とトラブルになることも多くなる。それぞれの気持ちを受け止め、代弁したりしながら互いの思いに気づけるようにしていく。 ☆ 好きな物に変身したり動いたりして遊びながら表現する楽しさを味わったり、イメージしたものを作ったりすることができるようにCDや材料を用意しておく。 ☆ 音楽に合わせて体を動かす楽しさを味わえるよう、体を使っていろいろな動きを経験できるように援助の仕方を工夫する。
----	---	---	--

家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達への関心が高まるとともにトラブルも多くなることや、そのことを通して学ぶことが多くあることを丁寧に伝えていく。 ・ 水遊びが始まる。爪や頭、耳を清潔に保つように注意してもらう。体調チェック表と水遊びチェック表の記入の協力をお願いする。 ・ 疲れが出やすい時期であるため個々の体調や様子を細かく連絡を取り合う。 	評価・反省のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 戸外で思い切り体を動かして遊び、楽しさを味わうことができた。 ◎ 一緒に遊んでいる友達やクラスの友達に関心をもって、かかわって遊ぶ楽しさを感じていたか。 ◎ 草花や虫などの自然物とかかわったり、砂・泥・水・絵の具等の感触を楽しんだりすることができたか。
--------	---	------------	--